



子どもと大人が地域で学び合い繋がる学習支援「にじっこ」

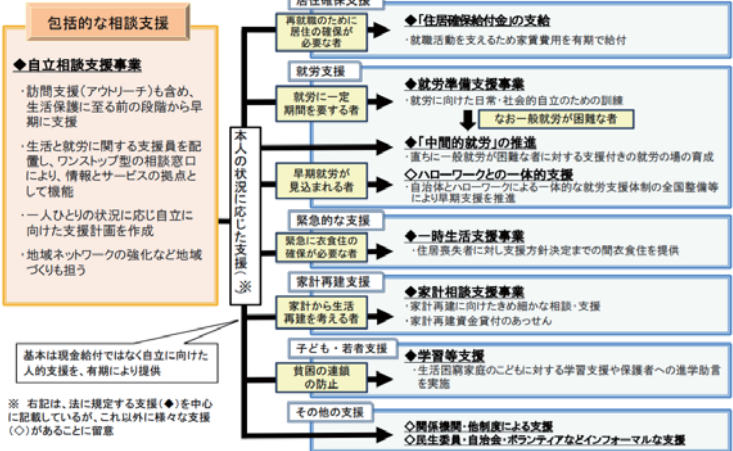
特定非営利活動法人青少年就労支援ネットワーク静岡

1/6人が貧困

課題と目的

国は法施行においては、「生活困窮者自立支援を通じた地域づくり」を大きな目標として掲げてきた

生活困窮者自立支援法



2015年4月～2018年3月まで自立相談支援事業を受託

課題 支援からとりこぼれた子どもたちの支援

目的 学習支援が必要な人々が抱える複合的な課題をもつ世帯を、市民ボランティアを中心として、一人ひとりの学習や就労意欲を引き出すこととともに地域で伴走しながら支えあう

生活困窮という課題を「他人事」にせず 地域で受け止めていく

学習支援「にじっこ」/虹は多様性の表現であり年齢・立場を問わないすべての学習困窮者が交流しながら学べる場となるように名付けた

生活困窮者とは、生活に困り事を抱えている人=すべての人

内容と特色

特色 **インフォーマル支援 困っている人を市民が支える**

サポーター研修会



にじっこ学び場



ごはん会



履歴書の書き方指導



学び直しサポート



親子相談



対人関係や発達障害、法制度等についてワークショップなどの研修を開催

サポーターや若者の強みを知り多様な年代で学びあう場を月1回開催

食育サポート月2回開催 (緊急支援の食事提供も行う)

学習支援、仕事探し、お仕事体験、家計相談、面接練習、引っ越し、掃除等市民が行う

事業効果

地域の人との出会いの場を創出することで新たなステップへ

- 学び直しの場
- 市事業に該当しない子の学びの場
- 出会いの場

日時：いつでも
会場：公共施設
費用：無料
対象者：だれでも
進 度：自分のペース

学びたいのに学べない
複雑化した問題をサポート

- ・孤立 ・強制退去
- ・離婚 ・虐待
- ・発達障害
- ・未就労 ・介護 . . .

学習支援参加者数

木曜日 13名
土曜日 33名

評価

誰も置き去りにしない

単に学力向上を目指さず、人と人とのつながりを大切に、安心して学べる環境と学びの関心を作り学習支援の場を作ることが出来た。今後も生きづらさを抱える子どもや若者たちの声を地域の人が聞き合うことで、地域問題として活動の場を広げ、さらに子どもたちに寄り添える仲間を増やしながら学習支援等を行っていく。

本を出版しました



沼津の地域づくりが
たくさん載っています